

学科名	放送芸術科
コース名	
授業科目	番組制作3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	60
単位数	4
担当教員	高沢敦博
実務経験	有
実務経験職種	映像業務全般
授業概要	既存の映像作品を通して、そこに使われる撮影技術を解析して今後の作品制作に応用する。また同時に企画・脚本・演出・演技についても解説を行い、今後の作品制作に生かしていく。
到達目標	以下、二つを習得する 1. クリエイターとしての眼を養い、鑑賞者から脱皮する 2. 常に画面外のカメラ位置、照明を考える
授業方法	オンデマンド型オンライン授業 毎回主に映画を1作品題材として扱う。 <事前編>と<解説編>として2つの解説映像も併せて送信する。 その後、アンケートレポートを提出。
成績評価方法	試験・課題 50% 期末に別途レポート課題 平常点 50% 期日までのアンケートレポート提出とその内容
履修上の注意	必ず指定期日までに視聴し、アンケートレポートを提出すること すぐにwikipediaなどに頼らず、自分で考えること
教科書・教材	必要な場合、授業にて資料配布

授業計画	
第1回	「キャッチミーイフユーキャン」スピルバーグ監督の技術を分析、解説
第2回	「9日目」ドイツ人監督による第二次世界大戦中の独軍を描いた作品。シュレンドルフ監督の製作背景を解説。
第3回	「イングロリアスバスターズ」クエンティン・タランティーノ監督の技とエンタテインメント性を考察、解説。
第4回	「きみに読む物語」カサヴェテス監督の技術を解説。
第5回	「ロストボディ」スペイン映画の巨匠オリアル・パウロ監督の技術と特性を解説。
第6回	「少女は自転車に乗って」サウジアラビア映画。そしてイスラム教の女性監督というとても特殊な映画の解説。
第7回	「ジャージーボーイズ」名匠クリント・イーストウッド監督による実話ベースの音楽映画。映画とのスタンスを解説。
第8回	「ディアハンター」ベトナム戦争を扱った、伝説的なアメリカンニューシネマのひとつ。時代性を解説。
第9回	「幸せなひとりぼっち」スウェーデン映画。北欧独特な形式を解説。
第10回	「東ベルリンから来た女」旧東ドイツを描いた作品の時代性と背景を解説。
第11回	「テルマ&ルイズ」巨匠リドリー・スコット監督によるロードムービーを解説。
第12回	「存在の耐えられない軽さ」チェコ映画。プラハの春当時の市民を描いた映画を解説。
第13回	「瞳の奥の秘密」アルゼンチン映画。アカデミー外国語作品賞の今作の技術を解説。
第14回	「シティ・オブ・ゴッド」ブラジル映画の特殊性を解説。
第15回	試験レポート